
大きな暗闇と小さな花

みさき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大きな暗闇と小さな花

【Zコード】

Z5650A

【作者名】

みやわわ

【あらすじ】

夢を捨てた少年が出逢った希望を持った少女

「はあ……」

彼は溜息を漏らした

夢もやりたい事も無い人生。彼にもかつては夢があったしかし、今は夢を諦め、学校を卒業し、進学もせずに何をするかともなく毎日を過ごしている

夢がなければ働く気も起きないという彼は流行りのニートだらう毎日恒例のこれから先どうすればいいのかを悩んでいる最中、階段を上る音が聞こえる

「お父さんの転勤の事だけあんたはどうすんの？」

答えは決まっていたようだ

「行かないよ

父親が海外に転勤になり、母親も一緒にいぐので彼はどうするのかを聞きに来たのだ

「そう……、出来ればあんたも一緒にの方が安心なんだけど。

「悪いけど、言葉もわかんないし、行つてもなんもやる事なさそうだから」

母親は皮肉を込めて言った

「こつちに居てもおんなじじゃない？」

「それは……」「まあいいわ。ならあんたには親戚の家に預かってもらう事になつてるから

「ええっ！？ なんで？」

「あんたに家を任せられるわけないでしょー小学生の子もいるからしつかり面倒みるのよ」

「ガキは嫌いだつて知つてるだろ！？ なんでもまたそんなとこに……」「でつかい子を預かってくれる家がそつあると思つへー」

彼に選択肢は無かった

「どうも、よろしくお願ひします」

「ええ。自分の家だと思つてくつろいで下さいね。小学生の女の子
もいるのだけれど、今日はまだ帰つて来てないみたいね」

彼はしばらくお世話になる部屋に案内された

奥さんは笑顔で物腰が柔らかい人で彼は安心していた
しばらくして夕食を食べていると元気な声が聞こえた

「ただいま～。お、この匂いはカレー？あ、お兄ちゃんが今日か
ら住む人だね？よろしくね～」

「あ、ああ……よろしく」

適当に相槌をうちらつ夕食を食べ終えて部屋に戻ると女の子がやつ
てきた彼女は彼の落としたピック（ギターを弾く道具）を持つてきた
「これってギターに使うやつじゃないの？お兄ちゃんギター弾いて
るの？」

「ああ……もう辞めたつもりだったんだけどな」

彼は引っ越しの時、悩んだ末に持つてきいた

「なんで辞めちゃうの？頑張らないの？」

「頑張ったよ。けど駄目だつた。俺にはセンスがないんだよ」

彼は中学からずっとバンドをやつていた。しかし限界を感じ、諦めた
「センスって何なの？先生が言つてたよ、諦めないで頑張れば夢は
叶うつて。あたしは大きくなつたら女優さんになるんだよ。お兄ち
ゃんは諦めちゃうの？」「ああ、駄目だつたんだよ俺には
「誰が決めたの？駄目だつて」

「……」

「お兄ちゃんが勝手に思つてるんじゃないの？大人つてそんな簡単
に諦められるの？」

「……」

「あたしは諦めないよ？諦めなければ絶対になれるつて先生が言つ
てたから。私は絶対に……」

彼はギターを弾き始めた頃を思いだしていた。諦めなければ夢は叶

うと信じていた時を。

彼は久しぶりにギターを手に取った

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5650a/>

大きな暗闇と小さな花

2010年12月11日17時35分発行